

高等学校 令和6年度（1学年用）教科 地理歴史 科目 歴史総合

教科：地理歴史 科目：歴史総合 単位数：2 単位

対象学年組：第1学年 1組～7組

教科担当者：

使用教科書：（帝国書院「明解 歴史総合」）

教科 地理歴史 の目標：

- 【知識及び技能】現代世界の地域的特色と日本及び世界の歴史の展開に関して理解するとともに、調査や諸資料から様々な情報を適切かつ効果的に調べまとめる技能を身に付けるようにする。
- 【思考力、判断力、表現力等】地理や歴史に関わる事象の意味や意義、特色や相互の関連を、概念などを活用して多面的・多角的に考察したり、社会に見られる課題の解決に向けて構想したりする力や、考察、構想したことを効果的に説明したり、それらを基に議論したりする力を養う。
- 【学びに向かう力、人間性等】地理や歴史に関わる諸事象について、よりよい社会の実現を視野に課題を主体的に解決しようとする態度を養うとともに、多面的・多角的な考察や深い理解を通して涵養される日本国民としての自覚、我が国の国土や歴史に対する愛情、他国や他国の文化を尊重することの大切さについての自覚などを深める。

科目 歴史総合 の目標：

【知識及び技能】	【思考力、判断力、表現力等】	【学びに向かう力、人間性等】
近現代史の諸事象について、世界とその中の日本を広く相互的な視野から捉え、現代的な諸課題の形成に関わる歴史を理解するとともに、諸資料から情報を適切かつ効果的に調べまとめる技能を身に付ける。	近現代史に関わる事象の意義、特色などを、時期や年代、推移、比較、相互の関連や現在とのつながりなどに着目して、概念などを活用して多面的・多角的に考察したり、歴史上の課題を把握し解決を視野に入れて構想したりする力や、考察、構想したことを効果的に説明したり、それらを基に議論したりする力を養う。	近現代史の諸事象について、よりよい社会の実現を視野に課題を主体的に追究、解決しようとする態度を養うとともに、多面的・多角的な考察を通して涵養される日本国民としての自覚、我が国の歴史に対する愛情、他国や他国の文化を尊重することの大切さについての自覚などを深める。

	単元の具体的な指導目標	指導項目・内容	評価規準	知	思	態	配当 時数
1 学 期	江戸時代の日本と結び付く世界 ①18世紀のアジア各地域間やアジア諸国と欧米諸国の貿易と、日本への影響について理解する。 ②「大航海時代」から「世界の一体化」へ至る交易の意義と地域の変容について考察し、自分の言葉で表現する。 ③18世紀の交易と現代の貿易との違いについて考察し、その変化の要因を追究する。	・アジアの中の江戸幕府、成熟する江戸社会、清の繁栄と結び付く東アジア、アジア・アメリカに向かうヨーロッパ ・パワーポイント、ワークシート	①18世紀のアジア各地域間やアジア諸国と欧米諸国の貿易と、日本への影響について理解している。 ②「大航海時代」から「世界の一体化」へ至る交易の意義と地域の変容について考察し、自分の言葉で表現している。 ③18世紀の交易と現代の貿易との違いについて考察し、その変化の要因を追究しようとしている。	○	○	○	6
	欧米諸国における近代化 ①市民社会と国民国家の形成、資本主義社会と国際分業体制確立の経緯を理解する。 ②市民革命および産業革命の経緯などから、諸改革の意義と現在社会との関わりを考察し、自分の言葉で表現する。 ③市民革命や産業革命が現代社会に与えた課題について、解決策を追究する。	・イギリスの革命とアメリカの独立、フランス革命～ヨーロッパ近代の幕開け、フランス革命の影響と国民意識の芽生え、産業革命で変わる社会、イギリスの繁栄と国際分業体制 ・パワーポイント、ワークシート	①市民社会と国民国家の形成、資本主義社会と国際分業体制確立の経緯を理解している。 ②市民革命および産業革命の経緯などから、諸改革の意義と現在社会との関わりを考察し、自分の言葉で表現している。 ③市民革命や産業革命が現代社会に与えた課題について、解決策を追究しようとしている。	○	○	○	6
	定期考査			○	○		1
	近代化の進展と国民国家形成 ①国民国家の展開と帝国主義による世界分割や移民の状況を理解する。 ②国民国家の形成・発展による対外戦争や差別・抑圧、帝国主義が人類に与えた変化について考察し、自分の言葉で表現する。 ③国民国家や帝国主義政策が現代社会に与えた影響について、追究する。	・1848年～近代ヨーロッパの転換点、イタリア・ドイツの統一とロシアの近代化、アメリカの拡大と第2次産業革命、帝国主義と世界の一体化 ・パワーポイント、ワークシート	①国民国家の展開と帝国主義による世界分割や移民の状況を理解している。 ②国民国家の形成・発展による対外戦争や差別・抑圧、帝国主義が人類に与えた変化について考察し、自分の言葉で表現している。 ③国民国家や帝国主義政策が現代社会に与えた影響について、追究しようとしている。	○	○	○	5
	アジア諸国の動揺と日本の開国 ①欧米諸国の進出によるアジア諸国の変容について理解する。 ②アジア諸国の変容を比較したり関連付けたりして考察し、「西洋の衝撃」の歴史的意義について自分の言葉で表現する。 ③欧米諸国の進出とアジア諸国の変容が現代社会にどのような課題を生み出したかについて考察し、追究する。	・「西洋の衝撃」と西アジアの変化、南・東南アジアの植民地化、ヨーロッパの日本接近とアヘン戦争、黒船来航と日本の対応、新体制の模索と江戸幕府の滅亡 ・パワーポイント、ワークシート	①欧米諸国の進出によるアジア諸国の変容について理解している。 ②アジア諸国の変容を比較したり関連付けたりして考察し、「西洋の衝撃」の歴史的意義について自分の言葉で表現している。 ③欧米諸国の進出とアジア諸国の変容が現代社会にどのような課題を生み出したかについて考察し、追究しようとしている。	○	○	○	5
定期考査			○	○	○	1	
近代化が進む日本と東アジア ①明治維新とその後の日本の変化やアジア諸国の変容について理解する。 ②明治維新の歴史的意義について、現代の日本への影響と関連付けて考察し、自分の言葉で表現する。 ③明治維新やアジア諸国の変容が、現代社会にどのような課題を与えたかについて考察し、解決策を追究する。	・新政府の誕生、近代国家を目指す日本、日本と清の近代化と日清戦争、列強の中国進出と日露戦争、日露戦争が与えた影響 ・パワーポイント、ワークシート	①明治維新とその後の日本の変化やアジア諸国の変容について理解している。 ②明治維新の歴史的意義について、現代の日本への影響と関連付けて考察し、自分の言葉で表現している。 ③明治維新やアジア諸国の変容が、現代社会にどのような課題を与えたかについて考察し、解決策を追究しようとしている。	○	○	○	5	

2 学期	<p>第一次世界大戦と日本の対応</p> <p>①国際関係の視点を軸に、第一次世界大戦勃発から終戦までの経緯と、参戦各国の社会の変化について理解する。</p> <p>②第一次世界大戦の総力戦体制下において、列強の戦闘員・列強の非戦闘員・植民地や従属地域の人々がそれぞれどのような目的で戦争に協力したのかを考察し、自分の言葉で表現する。</p> <p>③勢力均衡に基づく国際秩序と大衆の戦争参加が、現在の社会につながるどのような課題を生み出したのかについて考察し、解決策について追究する。</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・ドイツの挑戦とバルカン半島の緊張、総力戦となった第一次世界大戦、ロシア革命と大戦の終結 ・パワーポイント、ワークシート 	<p>①国際関係の視点を軸に、第一次世界大戦勃発から終戦までの経緯と、参戦各国の社会の変化について理解している。</p> <p>②第一次世界大戦の総力戦体制下において、列強の戦闘員・列強の非戦闘員・植民地や従属地域の人々がそれぞれどのような目的で戦争に協力したのかを考察し、自分の言葉で表現している。</p> <p>③勢力均衡に基づく国際秩序と大衆の戦争参加が、現在の社会につながるどのような課題を生み出したのかについて考察し、解決策について追究しようとしている。</p>	○	○	○	4
	<p>国際協調と大衆社会の広がり</p> <p>①ヴェルサイユ体制によって形成された国際秩序と、国際社会や各国に生じた政治・社会・文化の変化を理解する。</p> <p>②新しい国際秩序と大衆社会の特徴について考察し、自分の言葉で表現する。</p> <p>③ヴェルサイユ体制に基づく国際秩序の成立と、20世紀前半における大衆社会の到来が、現代社会においてどのような課題を生み出したのかを考察し、その解決策について追究する。</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・ヴェルサイユ体制の成立、東アジアの民族自決の行方、中東・インドの民族自決の影響、ヨーロッパの復興と大衆の政治参加、大衆社会の出現とアメリカの繁栄、日本における大衆社会の形成 ・パワーポイント、ワークシート 	<p>①ヴェルサイユ体制によって形成された国際秩序と、国際社会や各国に生じた政治・社会・文化の変化を理解している。</p> <p>②新しい国際秩序と大衆社会の特徴について考察し、自分の言葉で表現している。</p> <p>③ヴェルサイユ体制に基づく国際秩序の成立と、20世紀前半における大衆社会の到来が、現代社会においてどのような課題を生み出したのかを考察し、その解決策について追究しようとしている。</p>	○	○	○	7
	定期考査			○	○		1
	<p>日本の行方と第二次世界大戦</p> <p>①世界恐慌から第二次世界大戦の終戦に至るまでの経緯について、大衆とマスメディアの関わりに着目しながら理解する。</p> <p>②ファシズム体制の形成から終戦に至るまで、ドイツや日本で大衆がなぜ戦争に協力していったのかを考察し、自分の言葉で表現する。</p> <p>③大衆の戦争への加担という問題を現代社会における課題としてとらえ、その解決策を追究する。</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・世界恐慌が与えた影響、ファシズムの台頭と拡大、政党政治の断絶と満洲事変、日中戦争の始まり、第二次世界大戦の展開、戦局の悪化と被害の拡大、第二次世界大戦の終結とその惨禍 ・パワーポイント、ワークシート 	<p>①世界恐慌から第二次世界大戦の終戦に至るまでの経緯について、大衆とマスメディアの関わりに着目しながら理解している。</p> <p>②ファシズム体制の形成から終戦に至るまで、ドイツや日本で大衆がなぜ戦争に協力していったのかを考察し、自分の言葉で表現している。</p> <p>③大衆の戦争への加担という問題を現代社会における課題としてとらえ、その解決策を追究しようとしている。</p>	○	○	○	7
	<p>再出発する世界と日本</p> <p>①冷戦および冷戦構造の形成と、国連を中心とする平和へ向けた新たな国際秩序について、日本と関連付けながら理解する。</p> <p>②国際連合を中心に、第二次世界大戦以前と以後の国際関係を比較することで、戦争の経験が人々に何をもたらしたのかを考察し、自分の言葉で表現する。</p> <p>③大戦後に形成された冷戦構造と国際連合による平和維持体制における課題が、現代社会にどのような影響を与えているのかについて考察し、解決策を追究する。</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・戦後の新しい国際秩序、冷戦の始まり、日本撤退後の東アジア、日本の改革と独立の回復 ・パワーポイント、ワークシート 	<p>①冷戦および冷戦構造の形成と、国連を中心とする平和へ向けた新たな国際秩序について、日本と関連付けながら理解している。</p> <p>②国際連合を中心に、第二次世界大戦以前と以後の国際関係を比較することで、戦争の経験が人々に何をもたらしたのかを考察し、自分の言葉で表現している。</p> <p>③大戦後に形成された冷戦構造と国際連合による平和維持体制における課題が、現代社会にどのような影響を与えているのかについて考察し、解決策を追究しようとしている。</p>	○	○	○	7
定期考査			○	○		1	
3 学期	<p>冷戦で揺れる世界と日本</p> <p>①55年体制の形成から高度経済成長に至る日本の動きを、冷戦下の国際情勢を踏まえながらその中に位置づけて理解する。</p> <p>②冷戦下の日本と世界の動向について、政治・経済の関連や諸地域間の比較を通して多面的に考察し、自分の言葉で表現する。</p> <p>③冷戦期における各国の動向、現在の社会においてどのような課題を生み出したのかを考察し、解決策について追究する。</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・アメリカ・ソ連の緊張と緩和、冷戦下における日本の復興、第三勢力の形成と脱植民地化、中東戦争とパレスチナ問題 ・パワーポイント、ワークシート 	<p>①55年体制の形成から高度経済成長に至る日本の動きを、冷戦下の国際情勢を踏まえながらその中に位置づけて理解している。</p> <p>②冷戦下の日本と世界の動向について、政治・経済の関連や諸地域間の比較を通して多面的に考察し、自分の言葉で表現している。</p> <p>③冷戦期における各国の動向、現在の社会においてどのような課題を生み出したのかを考察し、解決策について追究しようとしている。</p>	○	○	○	5
	<p>多様化する世界</p> <p>①1960年代から80年代を中心に、冷戦下における各国の選択と経済成長について理解する。</p> <p>②各国の選択を比較し、「東アジアの奇跡」が起こった要因や世界史における意義について考察し、自分の言葉で表現する。</p> <p>③冷戦下における各国の政治的・経済的選択が、現代社会にどのような課題を生み出したのかを考察し、解決策について追究する。</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・揺らぐアメリカと先進各国の変化、「経済大国」日本の模索、経済発展に取り組むアジア・南米諸国、イスラーム復興と冷戦への影響 ・パワーポイント、ワークシート 	<p>①1960年代から80年代を中心に、冷戦下における各国の選択と経済成長について理解している。</p> <p>②各国の選択を比較し、「東アジアの奇跡」が起こった要因や世界史における意義について考察し、自分の言葉で表現している。</p> <p>③冷戦下における各国の政治的・経済的選択が、現代社会にどのような課題を生み出したのかを考察し、解決策について追究しようとしている。</p>	○	○	○	4
	<p>グローバル化のなかの世界と日本</p> <p>①冷戦終結の過程とグローバル化の</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・冷戦の終結と変わる世界構造、冷戦の終結が与えた世界への影響、超 	<p>①冷戦終結の過程とグローバル化の特質について理解している。</p>				

<p>特質について理解する。 ②グローバル化の進展や地域統合、ナショナリズムの強化について各地域を比較して考察し、その特質や問題点を自分の言葉で表現する。 ③冷戦の終結とグローバル化の進展がどのような課題を生み出したのかについて考察し、解決策について追究する。</p>	<p>大国アメリカと中東情勢、国際環境の変化と日本、グローバル化による国際社会の変容 ・パワーポイント、ワークシート</p>	<p>②グローバル化の進展や地域統合、ナショナリズムの強化について各地域を比較して考察し、その特質や問題点を自分の言葉で表現している。 ③冷戦の終結とグローバル化の進展がどのような課題を生み出したのかについて考察し、解決策について追究しようとしている。</p>	○	○	○	4
<p>定期考査</p>			○	○		1
						合計
						70

高等学校 令和6年度（2学年用） 教科 地理歴史 科目 世界史探究

教科：地理歴史 科目：世界史探究 単位数：4 単位

対象学年組：第2学年 1組～6組

教科担当者：

使用教科書：（山川出版社 詳説世界史）

教科 地理歴史 の目標：

【知識及び技能】現代世界の地域的特色と日本及び世界の歴史の展開に関して理解するとともに、調査や諸資料から様々な情報を適切かつ効果的に調べまとめる技能を身に付けるようにする。

【思考力、判断力、表現力等】地理や歴史に関わる事象の意味や意義、特色や相互の関連を、概念などを活用して多面的・多角的に考察したり、社会

【学びに向かう力、人間性等】地理や歴史に関わる諸事象について、よりよい社会の実現を視野に課題を主体的に解決しようとする態度を養うとともに

科目 世界史探究 の目標：

【知識及び技能】	【思考力、判断力、表現力等】	【学びに向かう力、人間性等】
世界の歴史の大きな枠組みと展開に関わる諸事象について、地理的条件や日本の歴史と関連付けながら理解するとともに、諸資料から世界の歴史に関する様々な情報を適切かつ効果的に調べまとめる技能を身に付けるようにする。	世界の歴史の大きな枠組みと展開に関わる事象の意味や意義、特色などを、時期や年代、推移、比較、相互の関連や現代世界とのつながりなどに着目して、概念などを活用して多面的・多角的に考察したり、歴史に見られる課題を把握し解決を視野に入れて構想したりする力や、考察、構想したことを効果的に説明したり、それらを基に議論したりする力を養う。	世界の歴史の大きな枠組みと展開に関わる諸事象について、よりよい社会の実現を視野に課題を主体的に探究しようとする態度を養うとともに、多面的・多角的な考察や深い理解を通して涵養される日本国民としての自覚、我が国の歴史に対する愛情、他国や他国の文化を尊重することの大切さについての自覚などを深める。

	単元の具体的な指導目標	指導項目・内容	評価規準	知	思	態	配当 時数
1 学 期	文明の成立と古代文明の特質 ①古代文明や諸地域の歴史的特質について、気候・地形などと関連付けて理解する。 ②古代文明や諸地域の歴史的特質について、気候・地形などと関連付けて多面的・多角的に考察する。 ③古代文明や諸地域の歴史的特質について、見通しをもって学習に取り組む。	・文明の誕生／古代オリエン特文明とその周辺／南アジアの古代文明／中国の古代文明／南北アメリカ文明 ・ワークシート	①古代文明や諸地域の歴史的特質について、気候・地形などと関連付けて理解している。 ②古代文明や諸地域の歴史的特質について、気候・地形などと関連付けて多面的・多角的に考察している。 ③古代文明や諸地域の歴史的特質について、見通しをもって学習に取り組もうとしている。	○	○	○	11
	中央ユーラシアと東アジア世界 ①中央ユーラシア、東アジア文化圏の歴史的特質について、両者の違いや関係性に着目し理解する。 ②中央ユーラシア、東アジア文化圏の歴史的特質について、両者の違いや関係性に着目し多面的・多角的に考察する。 ③中央ユーラシア、東アジア文化圏の歴史的特質について、見通しをもって学習に取り組む。	・中央ユーラシア——草原とオアシスの世界／秦・漢帝国／中国の動乱と変容／東アジア文化圏の形成 ・ワークシート	①中央ユーラシア、東アジア文化圏の歴史的特質について、両者の違いや関係性に着目し理解している。 ②中央ユーラシア、東アジア文化圏の歴史的特質について、両者の違いや関係性に着目し多面的・多角的に考察している。 ③中央ユーラシア、東アジア文化圏の歴史的特質について、見通しをもって学習に取り組もうとしている。	○	○	○	14
	定期考査			○	○		1
	南アジア世界と東南アジア世界の展開 ①南アジアと東南アジア世界の歴史的特質について、宗教や風土の違いに着目して理解する。 ②南アジアと東南アジア世界の歴史的特質について、宗教や風土の違いに着目して多面的・多角的に考察する。 ③南アジアと東南アジア世界について、見通しをもって学習に取り組む。	・仏教の成立と南アジアの統一国家／インド古典文化とヒンドゥー教の定着／東南アジア世界の形成と展開 ・ワークシート	①南アジアと東南アジア世界の歴史的特質について、宗教や風土の違いに着目して理解している。 ②南アジアと東南アジア世界の歴史的特質について、宗教や風土の違いに着目して多面的・多角的に考察している。 ③南アジアと東南アジア世界の歴史的特質について、見通しをもって学習に取り組もうとしている。	○	○	○	13
	西アジアと地中海周辺の国家形成 ①西アジアと地中海国家の歴史的特質について、ギリシア・ローマ文化やキリスト教の成立に着目し理解する。 ②西アジアと地中海国家の歴史的特質について、ギリシア・ローマ文化やキリスト教の成立に着目し、多面的・多角的に考察する。 ③西アジアと地中海国家の歴史的特質について、見通しをもって学習に取り組む。	・イラン諸国家の興亡とイラン文明／ギリシア人の都市国家／ローマと地中海支配／キリスト教の成立と発展 ・ワークシート	①西アジアと地中海国家の歴史的特質について、ギリシア・ローマ文化やキリスト教の成立に着目し理解している。 ②西アジアと地中海国家の歴史的特質について、ギリシア・ローマ文化やキリスト教の成立に着目し、多面的・多角的に考察している。 ③西アジアと地中海国家の歴史的特質について、見通しをもって学習に取り組もうとしている。	○	○	○	14
	定期考査			○	○		1
	イスラーム教の成立とヨーロッパ世界の形成 イスラーム教の伝播と西アジアの動向 ①イスラーム世界の誕生と西ヨーロッパ世界の成立について、イスラーム文化や封建社会の成立に着目	・アラブの大征服とイスラーム政権の成立／ヨーロッパ世界の形成 ・イスラーム教の諸地域への伝播／西アジアの動向	①イスラーム世界の誕生と西ヨーロッパ世界の成立について、イスラーム文化や封建社会の成立に着目し理解している。 ②イスラーム世界の誕生と西ヨーロッパ世界の成立について、イスラーム文化や封建社会の成立に着目し多面的・多角的に考察している。 ③イスラーム世界の誕生と西ヨーロッパ世界の	○	○	○	11

都立東大和 高等学校 令和6年度（2 学年用） 教科 地理歴史 科目 日本史探求

教科： 地理歴史 科目： 日本史探求 単位数： 4 単位

対象学年組： 第 2 学年 1 組～ 7 組

教科担当者：

使用教科書：（「詳説日本史」（山川出版））

教科 地理歴史 の目標：

- 【知識及び技能】 現代世界の地域的特色と日本及び世界の歴史の展開に関して理解するとともに、調査や諸資料から様々な情報を適切かつ効果的に調べまとめる技能を身に付けるようにする。
- 【思考力、判断力、表現力等】 地理や歴史に関わる事象の意味や意義、特色や相互の関連を、概念などを活用して多面的・多角的に考察したり、社会に見られる課題の解決に向けて構想したりする力や、考察、構想したことを効果的に説明したり、それらを基に議論したりする力を養う。
- 【学びに向かう力、人間性等】 地理や歴史に関わる諸事象について、よりよい社会の実現を視野に課題を主体的に解決しようとする態度を養うとともに、多面的・多角的な考察や深い理解を通して涵養される日本国民としての自覚、我が国の国土や歴史に対する愛情、他国や他国の文化を尊重することの大切さについての自覚などを深める。

科目 日本史探求 の目標：

【知識及び技能】	【思考力、判断力、表現力等】	【学びに向かう力、人間性等】
我が国の歴史の展開について、地理的条件や世界の歴史と総合的にとらえて理解しているとともに、調査や諸資料から様々な情報を適切かつ効果的に調べまとめる技能を身に付けるようにする。	我が国の歴史に関わる事象の意味や意義、特色や相互の関連を、概念などを活用して多面的・多角的に考察したり、社会に見られる課題の解決に向けて構想したりする力や、考察、構想したことを効果的に説明したり、それらを基に議論したりする力を養う。	我が国の歴史に関わる諸事象について、よりよい社会の実現を視野に課題を主体的に解決しようとする態度を養うとともに、多面的・多角的な考察や深い理解を通して涵養される日本国民としての自覚、我が国の国土や歴史に対する愛情、他国や他国の文化を尊重することの大切さについての自覚などを深める。

	単元の具体的な指導目標	指導項目・内容	評価規準	知	思	態	配当 時数
1 学期	1 日本文化のあけぼの 諸資料を活用し、課題を追及したり解決したりする活動を通して、原始社会（旧石器時代・縄文時代・弥生時代）の特色についての考察を踏まえ、時代を通観する。	1. 文化の始まり 2. 農耕社会の成立	【知識・技能】 旧石器・縄文・弥生文化の成立と変容を理解している。 【思考・判断・表現】 考古資料をもとに旧石器・縄文時代の社会の特徴を考察し、表現している。文献資料にもとづき弥生時代を考察している。 【主体的に学習に取り組む態度】 黎明期の日本列島について考察することを通じ、その特色を明らかにしようとしている。	○	○	○	10
	2 古墳とヤマト政権 諸資料を活用し、課題を追及したり解決したりする活動を通して、古墳の変容とヤマト政権による国家の形成過程について考察する。	1. 古墳文化の展開 2. 飛鳥の朝廷	【知識・技能】 国家の形成・古墳文化・飛鳥文化について大陸との関係に着目して理解している。 【思考・判断・表現】 中国の歴史書などをもとに小国の形成過程や仏教の受容や遣唐使など多面的に考察して表現している。 【主体的に学習に取り組む態度】 大陸との関係に着目して推古朝の政治や文化の展開を主体的に追求しようとしている。	○	○	○	8
	定期考査			○	○		1
	3 律令国家の形成 諸資料を活用し、課題を追及したり解決したりする活動を通して、律令国家の形成過程と国内統治体制について理解し、奈良から平安前期を考察する。	1. 律令国家への道 2. 平城京の時代 3. 律令国家の文化 4. 律令国家の変容	【知識・技能】 中国王朝との関係に着目して律令体制の成立過程などを理解している。 【思考・判断・表現】 白鳳期の政治動向に着目し、律令体制整備の過程について考察している。 【主体的に学習に取り組む態度】 中国王朝から導入された文化を考察し、政治や社会の動きとつながりを見出そうとしている。	○	○	○	20
定期考査			○	○		1	
2 学期	4 貴族政治の展開 諸資料を活用し、課題を追及したり解決したりする活動を通して、平安中期の摂関政治や地方政治の崩れを考察する。	1. 摂関政治 2. 国風文化 3. 地方政治の展開	【知識・技能】 藤原北家が権力を掌握していく過程から律令体制の変容の観点から摂関政治を理解している。 【思考・判断・表現】 文献資料を活用して、律令制度の変容を考察し、地方支配の状況を考察し、表現している。 【主体的に学習に取り組む態度】 平安時代の政治の在り方と文化の関係を考察することを通じ、そのつながりを見出そうとしている。	○	○	○	14
	5 院政と武士の躍進 諸資料を活用し、課題を追及したり解決したりする活動を通して、平安後期の院政や平氏政権の特性について考察する。	1. 院政の始まり 2. 院政と平氏政権	【知識・技能】 貴族政治や土地制度の変容をもとに、古代から中世の国家・社会の変容を理解している。 【思考・判断・表現】 武家政権の権力基盤となる武士の土地所有に至る変化を考察し、土地の支配や所有が持つ意味について多面的に考察して表現している。 【主体的に学習に取り組む態度】 中世社会の特色について多面的に考察することを通じ、時代を通観する間を表現し追究しようとしている。	○	○	○	14
	定期考査			○	○		1

高等学校 令和6年度（2学年用） 教科 公民 科目 公共

教科：公民 科目：公民 単位数：2 単位

対象学年組：第2学年 1組～ 7組

教科担当者：

使用教科書：（第一学習社『高等学校 新公共』）

教科 公民 の目標：

【知識及び技能】選択判断の手掛かりとなる概念や理論及び倫理、政治経済などに関わる現代の諸課題について理解する。

【思考力、判断力、表現力等】現代の諸課題について、事実を基に概念などを活用して多面的多角的に考察したり公正に判断したりする。

【学びに向かう力、人間性等】現代の諸課題を主体的に解決しようとする態度を養うとともに、多面的・多角的な考察をさせる。

科目 公共 の目標：

【知識及び技能】	【思考力、判断力、表現力等】	【学びに向かう力、人間性等】
現代の諸課題を考察し、選択・判断するための手がかりとなる概念や理論について理解するとともに、諸資料から、倫理的主体などとして活動するために必要となる情報を適切にかつ効果的に調べまとめている。	現実社会の諸課題の解決に向けて、選択・判断の手掛かりとなる考え方や公共的な空間における基本的原理を活用して、事実を基に多面的・多角的に考察し公正に判断したり、合意形成や社会参画を視野に入れながら構想したことを議論したりしている。	よりよい社会の実現を視野に、国家及び社会の担い手として、現代の諸課題を主体的に解決しようとしている。

	単元の具体的な指導目標	指導項目・内容	評価規準	知	思	態	配当 時数
1 学期	単元 法的な主体となる私たち 【知識及び技能】法など社会規範の役割が理解でき、日常生活と関連付けて理解する 【思考力、判断力、表現力等】民主政治における国家と個人の在り方について考察する 【学びに向かう力、人間性等】民主政治が自らの政治にかかわっていることについて、見通しをもって学習に取り組む。 単元 政治的な主体となる私たち	・指導事項 法や規範の意義と役割 契約と消費者の権利・責任 司法参加の意義 ・教科書・プリント・資料集 ・一人1台端末の活用	【知識・技能】法など社会規範の役割が理解でき、日常生活と関連付けて考察している。 【思考・判断・表現】民主政治における国家と個人の在り方が考察している。 【主体的に学習に取り組む態度】民主政治が自らの政治にかかわっていることについて、見通しをもって学習に取り組もうとしている。	○	○	○	12
	定期考査			○	○	○	1
	単元 政治的な主体となる私たち 【知識及び技能】民主政治を推進するために私たちが果たすべき役割を理解する。 【思考力、判断力、表現力等】日本国憲法で保障されている権利について調べ他者の権利や公共の利益にとの調和について考察する 【学びに向かう力、人間性等】社会の在り方について自分有に考察する	・指導事項 政治参加と公正な世論形成 国際社会と国家主権 日本の安全保障と防衛 国際社会の変化と日本の役割 ・教科書・プリント・資料集 ・一人1台端末の活用 等	【知識・技能】民主政治を推進するために私たちが果たすべき役割を理解している。 【思考・判断・表現】日本国憲法で保障されている権利について調べ他者の権利や公共の利益にとの調和について考察している。 【主体的に学習に取り組む態度】社会の在り方について、見通しをもって学習に取り組もうとしている。	○	○	○	14
定期考査			○	○	○	1	
2 学期	単元 経済的な主体となる私たち 【知識及び技能】戦後の日本経済の歩みが理解する 【思考力、判断力、表現力等】経済のサービス化が進展し、国民生活がどう変化したか考察する 【学びに向かう力、人間性等】経済社会に主体的に生きる一員として、今後の日本経済について、見通しをもって学習に取り組む。	・指導事項 雇用と労働問題 社会の変化と職業観 市場経済の機能と限界 ・教科書・プリント・資料集 ・一人1台端末の活用 等	【知識・技能】戦後の日本経済の歩みが理解している。 【思考・判断・表現】経済のサービス化が進展し、国民生活がどう変化したか考察している。 【主体的に学習に取り組む態度】経済社会に主体的に生きる一員として、今後の日本経済について、見通しをもって学習に取り組もうとしている。	○	○	○	13
	定期考査			○	○	○	1
	単元 経済的な主体となる私たち 【知識及び技能】金融財政のしくみを理解し、経済状況に応じて適切なスタンを提示する 【思考力、判断力、表現力等】景気の先行きを考え、自ら経済の動向を予測する 【学びに向かう力、人間性等】超低金利が続く日本社会の現状について主体的に追及する	・指導事項 金融の働き 財政の役割と社会保障 経済のグローバル化 ・教科書・プリント・資料集 ・一人1台端末の活用 等	【知識・技能】金融財政のしくみを理解し、経済状況に応じて適切なスタンを提示している。 【思考・判断・表現】景気の先行きを考え、自ら経済の動向を予測している。 【主体的に学習に取り組む態度】超低金利が続く日本社会の現状について、見通しをもって学習に取り組もうとしている。	○	○	○	12
定期考査			○	○	○	1	
3 学期	単元 公共的な空間をつくる私たち 【知識及び技能】各時代の思想や宗教の内容を理解する。 【思考力、判断力、表現力等】先人の生き方を通して自らを成長させる人間としての在り方生き方について考察する。 【学びに向かう力、人間性等】先哲の思想や生き方から自分自身の生き方を検証し、参考にできることはないか主体的に追及する。	・指導事項 持続可能な社会づくりの主体となる私たち 公共的な空間をつくる私たち 公共的な空間における人間としての在り方生き方 公共的な空間における基本原理 ・教科書・プリント・資料集 ・一人1台端末の活用 等	【知識・技能】各時代の思想や宗教の内容が理解している。 【思考・判断・表現】先人の生き方を通して自らを成長させる人間としての在り方生き方が考察している。 【主体的に学習に取り組む態度】先哲の思想や生き方から自分自身の生き方を検証し、参考にできることはないか主体的に追及しようとしている。	○	○	○	13
	定期考査			○	○	○	1
				○	○	○	合計 70